

優良賞

ぼっけが増えて新たな団地のコミュニケーションが生まれる

ちょっと開けていいかい？

〇〇君、ちゃんと触診してるかな？

お、診断の野郎が売ってる

いらっしやい〜

今日は川原いを散歩しようかしら

3, 色々なコミュニティ

住人のぼっけから個性が導き出され、相手の個性が見えるから、何気ないコミュニケーションが頻発される。

全開放にできなかったカーテン。知らなかったお隣さん。みんながみんなを。ちょっとだけ知っている。多世代が集まる団地ゆえにこの団地だからこそできる関わり合いがある。

北川廊下バス

窓辺のぼっけ ー入窓 × サン・コーポラス社ー

ぼっけに入ってるもの

ポケットの中をちょっと出してみる。そこには色とりどりの個性が詰まっている。そうした個性を知ることで、コミュニケーションは発生しうる。

外と内をつなぐぼっけ

窓枠を室内側に伸ばし、入窓を設ける。プライベートの確保と外に開く機能を持たせ、外と内をつなぐ余白を作る。

団地の分析・考察

改修の目的

誰かどなたか行っているのかとかなんか。知能や情熱が生きている事実。自分の家だと思っていない。団地にも人なかりを付する。それは多世代の多世代を結ぶ。多世代。多世代はいろんな人が集まってきて、多世代。多世代なコミュニティが生まれていく、わけではない。

本改修では住人の個性が前面化する余地を確保し、開かれた空間を創出。仮にできる空間を確保して、ぼっけで新たな団地のコミュニティを構築したい。また、サン・コーポラス社の団地。北川の廊下には多く開いている。そこに着目し、一室を切り取る。そこから個性が生まれる空間を創出。広く開かれた空間としよう。

1, 色々なぼっけ

ぼっけ① 勉強机

ぼっけ② プリマーケット

ぼっけ③ 立ち話

ぼっけ④ 車椅子置き場

ぼっけ⑤ 趣味の机

ぼっけ⑥ 郵便受け

ぼっけ⑦ 洗濯物(雨天用)

ぼっけ⑧ 家庭医室

ぼっけ⑨ テラス

2, 色々な収納

既存のバスがなくなる。既存の押入れの代わりにして新たな余白を利用する。

302号室 平屋 5=150

窓辺のぼっけ



氏名 : 宗形 雅彦
 学校名 : 前橋工科大学大学院 修士1年
 講評 : コミュニケーションが希薄した集合住宅に「ぼっけ」という仕掛けを介して、団地に活気を取り戻そうとする意欲的な作品でした。